

入場無料・申込不要

被害者支援講演会

「深まる苦しみ 広がる傷口」

～亀岡交通事件被害者ご遺族の癒えない痛み～

講師

なかえ よしのり
中江 美則 氏 (NPO 法人ルミナ理事長)

<講師紹介>

平成 24 年に亀岡市で発生した交通事故で、当時 26 歳の妊娠中の娘と胎児であった孫を亡くし、事件の悲惨さや遺族の苦しみを訴えるため、被害者の会「古都の翼」を設立し講演活動等に精力的に取り組まれ、現在は NPO 法人ルミナの理事長として、被害者支援や更生支援等に携わっています。

<亀岡交通事件>

平成 24 年 4 月、亀岡市で当時 18 歳の無免許の少年が遊び疲れによる居眠り運転の末、集団登校中の小学生の列に突っ込み、胎児含む 4 人が死亡、7 人が重軽傷を負った交通事故で、社会的に大きな関心を集め、のちの法整備のきっかけとなりました。

日時

令和 7 年 11 月 26 日 (水)

開場：13 時 30 分

開演：14 時 00 分 (1 時間 30 分程度)

会場

宇治市生涯学習センター
第 1 ホール

講演

残された遺族の苦しみや、事件後のいわれのない誹謗中傷、現在の活動に至るまでをつぶさに語っていただきます。

<講演会会場>



主催：宇治市総務課 (TEL:20-8700)、公益社団法人京都犯罪被害者支援センター